

2014年5月20日  
カルソニックカンセイ株式会社

カルソニックカンセイ、  
海外開発拠点とエンジニアリング情報を共有・協業できる  
「グローバル PDM システム」を構築

カルソニックカンセイ株式会社（本社：さいたま市北区、社長：森谷弘史）はこのほど、今後ますます増加する海外での開発を強化するために、CAD データを始めとするエンジニアリング情報をグローバルに一元管理し、全ての開発拠点の設計者が、必要な時にいつでもそれらを活用し協業できる環境を提供する「グローバル PDM (※) システム」の仕組みを開発・構築しました。

2014年度5月以降、アメリカ・イギリス・中国といった主要海外拠点に本システムを順次展開してゆく予定です

本システムには、CAD データなど大容量のデータを、グローバルに実用的な時間内に安全かつ安定して流通させるために、従来使用してきた専用回線ではなく、Akamai Technologies 社が提供するインターネットを活用したソリューションを利用しています。自動車関連部品メーカーとして、PDM での本技術の活用は、世界初となります。

本技術の活用のメリットは、今後の海外拠点の増加に対して、より安価かつ機敏に情報流通環境を構築できることであり、弊社の中期計画『CK G×4 T10』でめざす姿の一つである「グローバル化」を支える重要な技術として捉えています。

(※) PDM=Product Data Management

お問い合わせ先

カルソニックカンセイ(株) コーポレートプランニングオフィス 電話 (048) 660-2161

(参考データ)

## グローバル技術開発体制をサポートする技術情報プラットフォームを構築

- インターネットを介して、大容量データを高速・高信頼性・安価に 共有可能とする  
グローバルPDM(※)システムを構築(世界初)
- 2014年度中に海外主要拠点に展開予定

PDM(※) : Product Data Management

